

■ まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート ②一覧表 【個別施策にかかるKPI】

基本目標	個別施策	具体的な事業	シート番号	KPI	担当課	目標の方向性	進捗状況評価	基準値	単位	進捗状況(上段:目標/下段:実績)					最終目標値	実績値の確定時期	課内評価			効果発現要因	目標達成への課題	今後の取組の方向性
										H27	H28	H29	H30	H31			有効性評価	効率性評価	総合評価			
(1) 大学力と連携し、地域経済を牽引するまちづくり	①医高額連携をはじめとした新産業の創出	○医工学連携推進事業 ○新産業創出支援事業	②-1	新規プロジェクト活動支援件数	産学振興課	[↑] 増加	【B】：目標に対し概ね順調に進捗している	—	件	4	3	3	3	3	16	H28.3	【O】：目標に対し概ね適切な成果を得ている	【O】：概ね適切な費用対効果を得ている	【C】：コストは維持し、成果を向上させる必要あり	①医工学関連の開発、試作に対する補助事業の成果によりプロジェクトを創出できた。 ②共同開発施設の開設に対する支援を実施した。	①今後も継続的に支援を行うよう、地域の医療機関、大学、企業らとの体制整備が必要。 ②開設された共同開発施設を活用していくため利用者を増やしていく必要がある。	①②医療機関のニーズが機器やサービスの開発に結びつきやすいような、また、共同開発の場をより活性化するための取組みを強化。
										4	—	—	—	—								
	②地場企業の育成・企業立地の促進	○地域産品ブランド化支援事業 ○企業立地促進補助事業 ○空き店舗有効活用等商業活性化 ○地域企業魅力発見事業 ○市内ITベンチャー企業への支援 ○高度人材確保促進事業	②-2-1	企業立地（新設・移設・増設）件数	産学振興課	[↑] 増加	【D】：大きく遅れて進捗している	2	件	6	4	3	3	2	18	H28.3	【O】：目標に対し概ね適切な成果を得ている	【O】：概ね適切な費用対効果を得ている	【B】：成果、費用対効果双方の向上に努めつつ継続	企業立地促進補助事業において、雇用促進補助金交付申請予定であった企業の操業開始が遅れた影響により目標値に及ばなかったが、次年度以降の成果として見込まれる。	企業立地促進補助事業については、事業所の新設・増設等の設備投資に対する助成として、竣工後の操業開始を条件としているため工事の進捗状況等による影響から、今後も目標に対する成果の達成年度が遅れる可能性がある。 また、経済状況による景気の動向によっては、企業の投資意欲が低下する等の影響を受ける可能性もある。	今後も継続して企業誘致活動、既存企業等への支援活動に取り組むとともに、企業ヒアリングを通して、企業が求める助成制度の検討のほか、各支援制度の周知活動の強化を図る。
										4	—	—	—	—								
			②-2-2	支援による就職者数	産学振興課	[↑] 増加	【D】：大きく遅れて進捗している	—	人	151	58	99	49	48	405	H28.3	【O】：目標に対し概ね適切な成果を得ている	【O】：概ね適切な費用対効果を得ている	【B】：成果、費用対効果双方の向上に努めつつ継続	①企業立地促進補助事業において、雇用促進補助金交付申請予定であった企業の操業開始が遅れた影響により目標値に及ばなかったが、次年度以降の成果として見込まれる。 ②地域魅力発見事業は、広報誌による告知活動などの効果により地域企業への関心の向上がみられ、雇用数について成果がでている。	①企業立地促進補助事業については、事業所の新設・増設等の設備投資に対する助成として、竣工後の操業開始を条件としているため工事の進捗状況等による影響から、今後も目標に対する成果の達成年度が遅れる可能性がある。 また、経済状況による景気の動向によっては、企業の投資意欲が低下する等の影響を受ける可能性もある。 ②広報誌の効果などにより地域企業の認知度がある程度上がったが、効果的な配布方法などの検討により、さらなる向上が必要。	①今後も継続して企業誘致活動、既存企業等への支援活動に取り組むとともに、企業ヒアリングを通して、企業が求める助成制度の検討のほか、各支援制度の周知活動の強化を図る。 ②今後も地域企業の魅力発信に取り組む。
										84	—	—	—	—								
	③創業の支援	○がんばる農業応援事業 ○企業力アップのための産学交流事業 ○創業支援プログラム推進事業	②-3-1	創業支援件数	産学振興課・農林振興課	[↑] 増加	【B】：目標に対し概ね順調に進捗している	—	件	4	4	4	3	3	18	H28.3	【O】：目標に対し概ね適切な成果を得ている	【O】：概ね適切な費用対効果を得ている	【C】：コストは維持し、成果を向上させる必要あり	【産学振興課】：②他、地域でオープンイノベーション拠点を運営している団体の支援を受け、産学官交流のための拠点を在り方についてワーキングを実施し検討を行うことができた。 ③本市に関する情報発信のため、関係圏での広報活動等積極的に参加したが、現在のところ成果はない。 【農林振興課】：①について、農業委員会やJA、筑豊農業共済組合等の関係団体で構成する「飯塚市がんばる農業応援協議会」の連携した取組みにより、新規就農者の人材発掘や定着促進のための創業支援を実施し年度目標を達成した。	【産学振興課】：②引き続きイノベーションを生み出すような交流拠点の在り方について検討し構築の取組みを進める必要がある。③創業支援プログラムのみでなく、今年度拡充した創業支援計画に基づく取組みにより成果拡充を図る。 【農林振興課】：①において、新たな就農者の創出には、本事業での取組みのほか、住居や子育て、教育、福祉といった総合的な支援の構築が必要。また、新規就農者の営農が安定的に定着するようにきめ細やかな支援を行っていく必要がある。	【産学振興課】：②ハードの整備のみならず、地域コミュニティの構築・拡大を図る。③県の事業においては、本市の魅力発信について一層取組むと同時に、本市の創業支援事業計画に基づく各取組みにより一層の創業支援を行い、目標値の達成を目指す。 【農林振興課】：①は市内居住者や市外から移住される新たな就農者の掘りおこしと、きめ細やかな支援制度の体制構築を継続する。
										3	—	—	—	—								
			②-3-2	支援による新規就業者数	産学振興課	[↑] 増加	【B】：目標に対し概ね順調に進捗している	—	人	3	3	3	3	3	15	H28.3	【O】：目標に対し概ね適切な成果を得ている	【O】：概ね適切な費用対効果を得ている	【B】：成果、費用対効果双方の向上に努めつつ継続	【産学振興課】：②本市に関する情報発信のため関係圏での広報活動等積極的に参加したが、現在のところ成果はない。 【農林振興課】：①については、新たに農業に就業する人と、これまで研修に従事していた人の就業と合せて、年度目標を超える就業者の創出に繋がった。	【産学振興課】：②創業支援プログラムについては実施主体である福岡県との連携が必要。また、創業準備書の発掘、支援の効果的な手法を模索する必要がある。今年度拡充した創業支援計画に基づく取組みにより成果拡充を図る。 【農林振興課】：①において、新たな就農者の創出には、本事業での取組みのほか、住居や子育て、教育、福祉といった総合的な支援の構築が必要。また、新規就農者の営農が安定的に定着するようにきめ細やかな支援を行っていく必要がある。	【産学振興課】：②県の事業においては、本市の魅力発信について一層取組むと同時に、本市の創業支援事業計画に基づく各取組みにより一層の創業支援を行い、目標値の達成を目指す。 【農林振興課】：①において、市内居住者や市外から移住される新たな就農者の掘りおこしと、きめ細やかな支援制度の体制構築等を継続し、新規就農者の確保を図る。
										5	—	—	—	—								
	④大学との連携推進	○市内大学による地方創生事業への助成 ○インターンシップの推進 ○学生向けビジネスワークショップ事業	②-4	大学との連携事業件数	産学振興課	[↑] 増加	【B】：目標に対し概ね順調に進捗している	—	件	4	5	5	5	5	24	H28.3	【O】：目標に対し概ね適切な成果を得ている	【O】：概ね適切な費用対効果を得ている	【C】：コストは維持し、成果を向上させる必要あり	①各大学の活動を補助金事業などを通じて支援する中で、地方創生に係る事業について推奨した。	①②学生向けビジネスワークショップ等によるプロジェクト発掘には、いかに学生の参加意欲を呼び起こすかの工夫が必要	①②様々な学生向けのワークショップ等を開催してゆく中で、学生によるプロジェクト創出のために意欲ある学生に呼びかける、あるいは学生の意欲を呼び覚ますような企画を検討。
										4	—	—	—	—								

基本目標	個別施策	具体的な事業	シート番号	KPI	担当課	目標の方向性	進捗状況評価	基準値	単位	進捗状況(上段:目標/下段:実績)					最終目標値	実績値の確定時期	課内評価			効果発現要因	目標達成への課題	今後の取組の方向性
										H27	H28	H29	H30	H31			有効性評価	効率性評価	総合評価			
(2)安心して出産・子育てができるまちづくり	①婚活支援	○出会いの場創出支援事業	②-5-1	イベント、セミナー参加者数	子育て支援課	[↑]増加	【C】:やや遅れて進捗している	104	人	180	180	180	180	180	900	H27.12	【△】:成果が低下している	【△】:費用対効果が低下している	【D】:成果を拡充する見直しが必要	26年度までは親のお見合い交流会、夏の婚活、冬の婚活の計3回の婚活イベントを実施しているが、27年度は夏の婚活の代わりに婚活セミナー(恋愛応援セミナー、結婚応援セミナー)を実施した。飯塚市としては初の婚活セミナーの実施であり、延39名の参加となった。その他、親のお見合い交流会は28名、冬の婚活は49名の参加となり、全体としては、ほぼ平年通りの参加数となっている。	婚活イベントでマッチングしやすい参加人数は男女各20~25名(計40~50名)と言われており、それより多くなるとマッチングがしづらいため、一回のイベント当りの参加人数を50名から増やすことは難しい。(アンケートでも丁度いい人数だという声が多い)また、周知に係る時間や準備、予算等を考慮すると、イベント回数を増やすことも困難である。	28年度から、婚活セミナーについては効果が発揮されやすいよう、セミナーを受けた直後に婚活に移行するイベントを実施する。親のお見合い交流会、夏の婚活(セミナー・パーティー)、冬の婚活(セミナー・パーティー)の計3回を実施予定。
			②-5-2	イベントに満足している人の割合				71.6%		%	80	80	80	80								
	②-6-1	産科医・小児科医の相談医登録件数	子育て支援課	[↑]増加	【E】:未実施(未着手)	—	件	6	12	18	24	30	30	—	【×】:未実施(未着手)	【×】:未実施(未着手)	【E】:未実施(未着手)であり見直しが必要	複数の所管に関連する目標であり、施策として推進していくための個別事業としての制度や体制の構築にまで至らず未実施となった。	関係する所管課間で具体的な推進方法等を検討し、早急の実施に向けていくことが必要となっている。	関係する所管課間で制度の構築を急ぎ、事業の実施に向けた取り組みを進める。		
	②-6-2	不妊治療助成件数						子育て支援課	[↑]増加	—	—	件									—	96
	③子育てしやすい環境充実	○子育てプラザ整備事業 ○放課後児童健全育成事業 ○子育て世帯への経済的支援 ○保育所等の受入体制の充実 ○三世帯同居等推進事業	②-7-1	待機児童数	子育て支援課	[↑]増加	【B】:目標に対し概ね順調に進捗している						0	人	0	0	0	0	0	ゼロ	H28.3	【○】:目標に対し概ね適切な成果を得ている
			②-7-2	放課後児童クラブ登録児童数				子育て支援課	[↑]増加	【B】:目標に対し概ね順調に進捗している	1,734	人	1,990		1,996	2,023	2,030	2,064	2,064			
	④仕事と生活の調和に向けた支援	○休日子育て支援事業 ○仕事と子育ての両立応援セミナー	②-8	休日等子育て支援事業利用件数	子育て支援課	[↑]増加	【D】:大きく遅れて進捗している				39		件	60	60	60	60	60		300	H28.4	【△】:成果が低下している
								33	—	—		—		—								

基本目標	個別施策	具体的な事業	シート番号	KPI	担当課	目標の方向性	進捗状況評価	基準値	単位	進捗状況(上段:目標/下段:実績)					最終目標値	実績値の確定時期	課内評価			効果発現要因	目標達成への課題	今後の取組の方向性
										H27	H28	H29	H30	H31			有効性評価	効率性評価	総合評価			
(3) 次代を担うひとを育てる、学びのまちづくり	①特色ある学校教育の果新	○小中一貫教育推進事業 ○多重指導モデルMIM(ミム)、協調学習の推進	②-9	自校で実施されている教育について満足している児童生徒、保護者の割合	学校教育課	〔↑〕増加	【B】:目標に対し概ね順調に進捗している	—	%	80	80	80	80	80	80	H27.8	【O】:目標に対し概ね適切な成果を得ている 【O】:概ね適切な費用対効果を得ている 【B】:成果、費用対効果双方の向上に努めつつ継続	具体的な事業として実施している「小中一貫教育」、「多層指導モデルMIM(ミム)」「協調学習」等が順調に進捗し、目標としていた、「各校で実施されている教育について満足している児童生徒、保護者の割合が80%以上」とすることへの効果に対し、実績値が、「満足度73.5%」となり概ね適切な成果を上げている。	25%以上の保護者が各校の教育活動に満足していないのは、「授業改善」「教員の資質能力の向上」等に課題があると考えられる。	これまでの取組に加え、ICTを活用した「オンライン英会話」を実施する。また、小中一貫校におけるモデル校の事例を参考に教育課程の改善や授業改善を実施し、成果の向上に努める。また、更なる教員の資質向上のために、授業力向上のための研修を充実させる。		
	②学力レベルの向上	○徹底反復学習の推進 ○放課後子ども教室推進事業 ○ICT教育の推進	②-10	自校で実施されている授業に対して、よくわかる、よく内容を理解していると感じている児童生徒の割合	学校教育課	〔↑〕増加	【B】:目標に対し概ね順調に進捗している	—	%	80	80	80	80	80	80	H28.4	【O】:目標に対し概ね適切な成果を得ている 【O】:概ね適切な費用対効果を得ている 【B】:成果、費用対効果双方の向上に努めつつ継続	具体的な事業のひとつとして実施している「小中学校学力向上推進事業」が順調に進捗し、目標としていた「よくわかる、よく内容を理解していると感じている児童生徒の割合が80%を上回る」ことへの効果に対し、実績値が、71.5%となり概ね適切な成果を上げている。	30%近くの児童生徒が「授業がわかる」と回答していない理由としては、「授業改善」、「教員の資質能力の向上」及び「体験活動の充実」等に課題があると考えられる。	体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、児童生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫するよう指導する必要がある。また、更なる教員の資質向上のために、授業力向上のための研修を充実させる。		
	③国際交流を通じたひとづくり	○国際交流推進事業 ○小学校英語教育推進事業	②-11	自校で実施されている英語力の向上に関わる取り組みにおいて、「授業が楽しい」と感じている児童生徒の割合	学校教育課	〔↑〕増加	【B】:目標に対し概ね順調に進捗している	—	%	80	80	80	80	80	80	H28.4	【O】:目標に対し概ね適切な成果を得ている 【◎】:高水準の費用対効果を維持している 【A】:成果の向上に努めつつ、費用対効果を維持して継続	小学校5・6年生、中学校1～3年生に派遣しているALTを、各学校で効果的に活用したことにより、「児童生徒が積極的に英語でコミュニケーションを図るようになった」と回答した学校の割合の実績値が「97%」となり、概ね適切な成果をあげている。	「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」の合計では97%の数値を示しているが、「あてはまる」のみに限定すると44%と半数を割っている。児童生徒が、「英語を使いたい」「英語が話せるようになった」と実感できる取組を実施していく必要がある。	ネイティブスピーカーとの交流について、従来のALT派遣に加え、小6でネイティブスピーカーとのオンラインによるマンツーマンレッスンを実施することにより、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする児童生徒の資質・能力の向上に努める。		
	④高等教育支援	○奨学金制度 ○スポーツ・文化等育成事業	②-12	奨学金資金募集定員における新規貸付人数の割合	学校教育課	〔↑〕増加	【C】:やや遅れて進捗している	14%	%	50	50	50	50	50	50	H28.4	【△】:成果が低下している 【O】:概ね適切な費用対効果を得ている 【C】:コストは維持し、成果を向上させる必要あり	奨学金制度の周知啓発については、市報や市のHPへの情報掲載、及び中学校への周知依頼を例年行っており、更に26年度からは高校への周知依頼、27年度からは市内大学への周知依頼を行っている。以上のように、周知の範囲については拡充しているが、十分な周知のためにはより効果の大きい周知活動も必要であると考えられる。また、県の高等学校等奨学金や、日本学生支援機構の奨学金制度などの、同種の奨学金制度の存在や、近年の経済状況を背景とした奨学金返還への経済的不安などが、成果に起因しているものと思われる。	同種の奨学金制度には予約募集を行っているものや、貸付時期が市の奨学金よりも早いものがある。これらの状況を検討したうえで、より借りやすい奨学金制度を設計することが、現時点での課題であると考えられる。	周知啓発に関しては、前年度までに行ってきたものは継続し、他の周知方法も検討する。また、募集時期及び貸付時期を早める予約募集の検討を含め、より借りやすい制度を目指すことで、成果の向上に努める。		

基本目標	個別施策	具体的な事業	シート番号	KPI	担当課	目標の方向性	進捗状況評価	基準値	単位	進捗状況(上段:目標/下段:実績)					最終目標値	実績値の確定時期	課内評価			効果発現要因	目標達成への課題	効果発現要因
										H27	H28	H29	H30	H31			有効性評価	効率性評価	総合評価			
①健康都市いづかの実現	○地域包括ケア拠点事業 ○健康都市推進事業 ○健康ポイント事業 ○各種健診等事業の推進	「健康都市いづか」関連事業参加者数	②-13-1	健康都市いづか	健康・スポーツ課	[↑]増加	【B】：目標に対し概ね順調に進捗している	11,000人	人	34,200	34,200	34,200	34,200	34,200	171,000	H28.3	【◎】：目標以上の成果を得ている	【○】：概ね適切な費用対効果を得ている	【A】：成果は維持し、費用対効果の向上に努めつつ継続	健康プラザにおける健康運動教室等の新規事業により、多くの参加者を取り込むことができたことがプラス要因となった。	事業参加者の年代層は健康への関心が高まる60代が多いことから、今後、無関心な若年層へいかにアプローチしていくかが課題である。	「健康都市いづか」の実現するために「いづか健康都市基本計画」策定から2年を経過することから、これまでの活動をふりかえり検証を行い今後の諸施策の内容を検討し、自発的な運動や活動を行っていくような健康意識を定着させるための事業展開を検討していく。
										37,224	—	—	—	—								
										①60 ②80	①60 ②80	①60 ②80	①60 ②80	①60 ②80								
①46.4 ②67.7	—	—	—	—																		
②-13-3	地域包括ケア拠点での在宅復帰に向けた相談対応件数	福祉部 高齢者支援課	維持 [→]	【D】：大きく遅れて進捗している	—	件	200	200	200	200	200	200	H28.3	【△】：成果が低下している	【△】：費用対効果が低下している	【D】：成果を拡充する見直しが必要	平成27年度は拠点の構築期間であったため、相談窓口の設置にまでは至っておらず実績はない。	関係機関への事業周知は行っているが、拠点機能(地域における医療ネットワークの構築等)の整備が十分ではなく、対応できる相談内容が限られているなど、今後の改善が必要となっている。	今後、拠点機能の充実させネットワーク化を図ることで、各機関からの相談窓口としての機能を強化させる。また、医療機関の他、介護・福祉団体の利用も増加させるようリーフレットの配布や、関係団体が実施する会議等での周知活動にも取り組み、在宅復帰後の在生活全般に関する相談支援についても対応を強化し、ワンストップサービスとしてさらなる在宅生活の支			
							0.00	—	—	—	—											
							②-14-1	コミュニティバス等公共交通の利用者数	経済部 商工観光課	[↑]増加	【A】：計画以上の効果が現れている									62,881人	件	65,000
75,513	—	—	—	—																		
②-14-2	立地適正化計画の策定及び都市機能誘導区域の設定	地域連携都市政策室	達成	【B】：目標に対し概ね順調に進捗している	—	—						—	①策定 ②設定	—	—	—	①策定 ②設定	—	【○】：目標に対し概ね適切な成果を得ている			【○】：概ね適切な費用対効果を得ている
							—	—	—	—	—											
							②-15-1	観光入込客数	商工観光課	[↑]増加	【D】：大きく遅れて進捗している	232万人(見込み)	万人	256.6	281.2	305.8				330.4	355.0	
215	—	—	—	—																		
②-15-2	ツアー団体件数(国内・国外)	商工観光課	[↑]増加	【D】：大きく遅れて進捗している	—	件								200	200	200	200	200	200	H28.3	【△】：成果が低下している	【○】：概ね適切な費用対効果を得ている
							152	—	—	—	—											
							②-16-1	買い物支援サービス等延べ利用者数	まちづくり推進課	[↑]増加	【D】：大きく遅れて進捗している	—	人	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600				
497	—	—	—	—																		
②-16-2	自治会加入率	まちづくり推進課	[↑]増加	【B】：目標に対し概ね順調に進捗している	62.0%	%								64.00	66.00	68.00	70.00	72.00	72.00	H28.3	【○】：目標に対し概ね適切な成果を得ている	【○】：概ね適切な費用対効果を得ている
							62.30	—	—	—	—											
							②-16-2	自主防災組織数	防災安全課	[↑]増加	【B】：目標に対し概ね順調に進捗している	16組織	組織	16.00	17.00	18.00	19.00	20.00				
16.00	—	—	—	—																		
16.00	—	—	—	—																		